



「学校評価」をよろしくお願ひします。

校長 中村 行雄

毎年実施しております保護者の方による「学校評価」をよろしくお願ひします。「学校評価」に関わって、南小学校が各項目についてどのような取組をしているのかをまとめました。保護者の皆様には、その内容を理解していただいた上で評価をしていただけたら幸いです。どうぞよろしくお願ひします。

1 学校は、学校教育目標「賢い子、優しい子、強い子」の具現のため、基礎学力の定着に努力している。

- 3年生以上については、教科の免許をもった教員が授業を指導する教科担任制を導入し、専門的な指導にもとづいたわかりやすい授業を行っています。
- 昨年度から、県教育委員会から「指導と評価の一体化」事業の研究指定を受け、東濃地区唯一のリーディングスクールとして教科指導に係る研究実践を行っています。
- 各教科の授業では児童が目標をもち学習を調整しながら進め、授業の終末では理解したことやできたことを振り返ることで定着できるように指導方法を工夫しています。
- Chromebookを使って、学級の仲間と考えを共有したり、ドリル学習や復習活動を行ったりしています。

2 学校は、学校教育目標「賢い子、優しい子、強い子」の具現のため、思いやりやコミュニケーション能力の育成に努力している。

- 児童同士の豊かな人間関係を醸成するために、学級づくりにも力を入れ、学年・学級の取組、異学年交流や異学年とのペア活動に力を入れています。
- 児童のコミュニケーション能力の育成を図るために、演習（エンカウンター）などを定期的に実施しています。
- 授業や学級・学年の活動等では、児童が自分の考えや学んだことを言葉にして表現すること大にして指導しています。
- 人権教育に重点をおいており、やさしい行動や思いやりのある行動などを「グッド・レポート」として全校に紹介したり、掲示したりしています。

3 学校は、学校教育目標「賢い子、優しい子、強い子」の具現のため、体力作りや健康増進に努力している。

- 岐阜県教育委員会が主催する「チャレンジ・スポーツ in ぎふ」にエントリーし、運動会の全校種目で実施した8の字跳びなどに取り組んでいます。
- 体育の授業のはじめにはACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）運動を準備運動に取り入れ、楽しみながら体を動かすことを行っています。
- 児童会体育委員会からの働きかけにより、外遊びの奨励や南遊び（縦割り遊び）、サーキット・トレーニングなどの取組を実施しています。

4 学校は、確かな学力育成のため、3年生以上に教科担任制を導入しており、児童にとって効果的な指導となっている。

- 文部科学省が導入を検討している小学校における教科担任制を3年生以上の学年で実施しています。約半分の教科を教科担任制として、専門教科の中学校免許を有する教員が授業を担当しています。
- 過去に中学校に勤務した経験のある教職員が、義務教育9年間を見通した指導を各教科で行っています。
- 教科担任制を通して、児童の安心して主体的に学習に向かう態度が育成され、思考力、判断力、表現力等といった資質・能力が高まることを期待できます。

5 学校は、家庭学習の力を付けるため、学力アッププログラム、宿題などを活用し、効果的に指導している。

- 「学力アッププログラム」に代わり、南小学校独自の「チャレンジ週間」を設定し、重点的に家庭学習に取り組む期間としています。
- PTAの家庭教育委員会と連携し、児童が家庭学習について方法や内容を選択しながら、自主的・自発的に取り組むことができるよう「家庭学習チェック表」や「テスト結果表」を活用しています。

6 学校は、読書習慣を育成するための指導を効果的に行っている。

- 国語の時間などに、定期的に図書館を利用し、一斉に本の貸し出しを行い、読書する機会を設けています。
- 児童会の図書委員会主催の図書館祭りやお昼の放送での本の紹介、PTA家庭教育委員会主催の読み聞かせなどを通して、読書への興味関心を高めています。
- 教職員からのおすすめの本を「先生のおすすめ本紹介」として掲示をしています。
- 学校図書司書が週2回巡回して、読み聞かせやブックトークなどを行っています。

7 学校は、学級や学年、児童会や委員会、クラブや異学年グループなど、集団活動を通して適切な人間関係能力の育成を図っている。

- 運動会などの行事と全校地域やペアそうじなどの日常的な活動で、異学年集団での活動を行っています。
- 充実した授業の基盤は、よりよい学級集団づくりや学年集団作りにあると考え、教職員が学級づくりについて検討する委員会を設置しています。加えて、学級や学年の良好な人間関係作りのための演習等を計画的に実施しています。

8 学校は、児童のよさや頑張りを適切に評価し、児童の自己肯定感を高めるよう、適切に指導している。

- 学年担任制のメリットを生かし、複数の教職員で意図的に頑張りを認めたり評価したりして、個々の努力を自信や次の活動への意欲につなげられるようにしています。
- 複数の教職員から多角的な視点で児童の長所や努力が認められる機会を通して、児童の自己有用感や自己肯定感を高めるようにしています。
- 学級担任からの日常的な評価に加え、学級の仲間同士で頑張りを評価することも授業の終わりや帰りの会で行っています。

9 学校は、学校施設・設備の充実や保守を行い、児童にとって適切な教育環境を整え、管理している。

- 現在の校舎が既に20年が経ち、補修が必要なところがありますが、経年劣化したウッドデッキの撤去や照明の設置など児童の安全に関わる部分は優先的に修繕をしています。
- 理科室や家庭科室などの特別教室のエアコンの工事を4月から開始し、来年度に設置が完了する予定です。

10 学校は、早寝・早起き・朝ご飯といった、基本的な生活習慣の育成について指導し、児童に定着させている。

- 基本的な生活習慣の育成はご家庭のことですが、学級指導や家庭科の授業、長期休業前の生徒指導主事からの話などで生活習慣を整える大切さの指導しています。
- 4年生以上の児童については、「自分づくりノート」を使って、自分の生活を振り返りながら、自分の生活を自分で管理できる自立的な生活習慣の育成をめざしています。

11 学校は、命を守る訓練や登下校指導など、児童の命を安全に守るための努力をしている。

- 交通安全教室や集団での登下校についての指導は、実地訓練を伴って年度初めに3回夏休み後に1回行い、児童の意識の向上を図っています。
- 火災や地震発生時を想定した命を守る訓練は4回実施しています。事前に告知しないなどより実践的な訓練を行っています。
- 不審者対応訓練は、不審者の侵入経路を年度ごとに変えて実施しています。本年度は事前通知なしで不審者が職員玄関から校舎に侵入したことを想定して、校舎内で安全確保する方法を確認しました。
- Jアラートに対応した訓練では、ミサイルが発射されたことを想定し、窓から離れ安全な姿勢をとることを確認しています。
- 校区内で不審者や熊の目撃情報があった場合や、熱中症が心配される場合などは、全職員で児童の下校の見届けを行います。

12 学校は、心の健康調査やいじめアンケートなどを行い、教育相談を適切に行い、児童の実態把握とケアに努めている。

- 心の健康調査やいじめのアンケートは毎月実施し、実施日の内に個別の面談を行って問題の把握と早期対応を行っています。各児童の調査やアンケートの回答は、学年担任、養護教諭、生徒指導主事、管理職が実施日に全てチェックし、面談後の結果も確認しています。
- 心の健康調査やいじめのアンケートを通して、トラブルや児童の困りごとを多く把握し解決できています。
- 年に2回各児童との個別の面談である「おはなしタイム」を実施し、児童理解を深めるとともに、困りごとを把握しています。多くの児童は、困りごとが特になくても、先生と話ができるよかったです。話聞いてくれてうれしかったと思っているようです。
- 児童や保護者の必要に応じてスクール相談員やスクールカウンセラーとの面談を実施しています。

13 学校は、児童の問題行動やトラブルに対して迅速に対応し、解決を図っている。

- 問題行動に対しては、即時対応を原則にしています。事実確認や問題の解明、児童へのケアには即時対応をしますが、指導や謝罪については、児童の状況を判断し保護者と相談しながら適切な時期を選んで実施しています。

- 全ての問題行動は、担任から生徒指導主事と管理職に報告され、管理職と生徒指導主事を交えて協議し、学校全体で組織的な対応をしています。
- 必要に応じて、子ども相談センターや子ども家庭課、中津川警察署などの関係機関とも連携しながら対応し、問題の解決を図っています。

14 学校は、対話的な学習、体験的な学習を重視し、児童に感動ある学習活動を行っている。

- 授業では、各児童が自分なりの見通しをもって取り組むことができるよう指導方法を工夫しています。また、考えを交流したり、協力して追究したりするなど、対話的な学習を普段から実施しています。また、授業の終末には分かったことを振り返りそれを自分の言葉で交流することで学力の定着を図っています。
- 学校に地域の方を講師として招き、直接お話を聞く機会を設け、講師の方の生き方を含めた学習ができるようにしています。
- 学年に応じて校外学習の内容を工夫し、調査をしたり、地域の方に聞き取りをしたり実際に体験したりすることを大切にしています。

15 学校は全ての教育活動を通して、確かな人権感覚を身に付けさせる人権教育を行っている。

- 大人への成長過程にある子どもたちであるからこそ仲間とのトラブルが起こります。指導することでそのトラブルをいかに成長につなげていくかが大切であると考え、安易な解決手段とならないように生徒指導委員会を開催し、対応しています。
- 人権教育は南小学校が大切にしている教育のひとつです。ひびきあい集会等の行事だけではなく、「よいとこ見つけ」や「グッド・レポート」などの日常的な活動も大切にしています。
- 本年度も児童会代表委員会が中心となって、「世界つながろうプロジェクト」を実施し、発展途上にある国の子どもたちに服や文房具を送る活動を通して、世界的な視点で人権教育を行っています。

16 学校は、発達段階に応じた成長を促すために、運動会等の行事や特別活動を工夫して実施している。

- 運動会や歌声交流会などの行事や委員会活動、学級学年活動では、児童主体であり児童が十分に力を発揮し成長できる取組になるよう指導しています。
- 特に、児童の委員会活動では、児童がアイディアを出し児童が主体となって取り組む活動を大切にしています。二者択一形式でのあいさつ運動や廃食用油の回収など、自治的活動や奉仕的な活動が児童の成長につながり、下級生のお手本になっています。

17 学校は、学校報「南校だより」や学級学年通信、ホームページなどを通して、家庭や地域の学校の様子や情報を伝えている。

- 学校での児童の様子をできるだけ多く保護者や地域の方に知っていただくことをめざして、ホームページを運営や学校報を発行しています。
- 南小学校のホームページについては、本年度の4月から10月の月平均で7,000回のアクセスがありました。1日にすると230回となり、各ご家庭で1日に1回アクセスしていることになります。
- 学年・学級通信については、学校での働き方改革を進め教職員の時間外勤務を減らすために、必要最低限にするよう校長が引き続き指示をしているところです。